

平成29年12月5日

東京大学の学生及び教職員の皆さんへ

副学長・理事

石井 洋二郎

体験活動プログラムの企画募集について（依頼）

本学で学生が正規の教育課程以外に、国内外の実社会で多様な体験を得ることができるよう平成24年度から実施している「体験活動プログラム」は、学部前期課程及び後期課程に在学する学生（以下「学部学生」という。）を対象にさまざまな体験活動の機会を提供しています。

また、プログラム内容は、学生及び教職員の皆さんから企画を募集しており、多くの方々のご協力をいただき実施しています。

つきましては、平成30年度体験活動プログラムについて、学生及び教職員の皆さんからの企画を下記のとおり募集いたしますので、奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

なお、研究室体験活動の企画応募については、当該研究室等関係教職員に限るため、詳細について別途ご案内いたします。

記

1. 体験活動プログラムの趣旨

体験活動プログラムは、学生が、自分とは異なる考え方や発想、異なる行動様式や価値観と触れあい、刺激を受けることのできる機会や場を提供するプログラムです。

ついては、可能な限り、所属する学部や在籍する学年に係わらず参加することができる体験活動であることが前提となります。

2. 体験活動の内容についての留意事項

- (1) 体験活動プログラムの趣旨に沿った教育的意義のある活動内容であること。
- (2) 教育課程内の授業（講義、実習等）の一部ではないこと、かつ授業の関連として取り扱う活動ではないこと。
- (3) 既存団体（サークルや部等）の行う活動の資金援助、又はすでに特定の学生の参加が決定しているコンテスト等の旅費の援助を求めるものでないこと。
- (4) 海外での活動の場合、当該国について外務省の危険情報が発出されている等のように情勢に不安がある、あるいは感染症が蔓延するなど、危険度の高い国・地域ではないこと。
- (5) 活動の実施期間が次の期間内であること、ただし、授業期間中に活動を行う場合は、授業時間外又は休業日等に活動を行うもので、授業に支障のないものであること。

平成30年7月中旬～平成31年3月

- (6) 活動内容の参考例（別添「平成28年度体験活動プログラム活動報告」
(<http://www.u-tokyo.ac.jp/content/400065263.pdf>) 等参照)



- a. ボランティアなどの社会貢献活動（東日本大震災の被災地への支援を除く。）
バリアフリー支援（障害児・者への生活・学習支援や介護等）、環境保全、教育等の分野での支援
- b. 国際交流体験活動
サマースクール、国際NPO活動への参加、海外での異文化体験等
- c. 就労体験活動
自治体、企業、NPO等での就労体験等
- d. 農林水産業などに関わる地域体験活動
出身家庭・地域と異なる場での生活体験等
- e. フィールドワーク体験活動
演習林、牧場、植物園等の全国にある本学研究施設でのフィールドワーク体験
- f. 研究室体験活動
学内研究科、研究所、全学センターでの研究体験

3. 体験活動プログラム企画提案書の記入について

体験活動プログラム企画提案書は、本学HPhttp://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h19_j.html（下記QRコード参照）からダウンロードすることができます。

- (1) 「活動名称」欄には、活動の内容が連想できる名称を記入してください。
- (2) 活動期間について、週1回の活動を2ヶ月続けるなど記入欄に合わない活動形態の場合は、本欄には記載せず、「具体的な内容」欄に活動の形態及び期間等を記入してください。
- (3) 「参加資格等」欄には、特に必要な資格（理系や文系の学生に限る等）があれば記入してください。ただし、本プログラムの趣旨としては、学年や所属に限らない活動を推奨しています。
- (4) 「大学のサポート」欄には、応募する企画をプログラムとして実施する場合に、大学のサポートを要することがあれば記入してください。なお、プログラムとして実施する場合の費用に関することについては、「参加するための費用」欄の特記事項に記入してください。
また、プログラムとして実施する場合、参加する学生は、災害傷害保険や賠償責任保険への加入が義務付けられます。（保険料については、危機管理の一環として大学で負担します。）
- (5) 「参加するための費用」欄の内訳の各欄には、応募した企画がプログラムとなった場合に、参加する学生が負担する額の内訳を記入してください。その際、各項目の金額、用途（交通費、宿泊費以外に発生する費用の項目）については、可能な限り詳細な記入をお願いします。
- (6) 応募する企画をプログラムとして実施する際に、プログラムとして運営するための費用が必要な場合は、「参加するための費用」欄の右側の特記事項を記載する欄に、費用の項目と概算金額を記入してください。
- (7) 「備考」欄には、他の欄の内容に含まれること以外に必要な内容があれば記入してください。

4. 応募企画の選考について

応募いただいた企画は、「実現性」、「安全性」、「教育的意義」等を考慮のうえ、選考を行います。

5. 日程について

- (1) 応募締切 平成30年1月26日（金） 17時
- (2) 選考結果通知 平成30年3月 5日（月） 【予定】

6. その他参考事項

体験活動プログラムに参加した学部学生は、活動報告書の提出が求められます。

7. 申請及び問合せ先

ご応募の際は、HP内から「体験活動企画提案書」をダウンロードし、作成のうえ、「受取フォルダ」にアップロードする形で提出してください。

※企画提案書のファイル名には、「体験活動プログラム企画応募」と記載してください。また、アップロード後は本部学生支援課体験活動推進チームあてにメールにより、アップロード完了をお知らせください。完了メールを確認後、1週間以内に受領メールをお送りします。

東京大学本部学生支援課 体験活動推進チーム

電 話 03 (5841) 2541、2542

E-mail taikenkatsudou.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

HPアドレス http://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h19_j.html

受取フォルダ https://webfs.adm.u-tokyo.ac.jp/public/ySsMAAgI9A6Aap0Bmq9apRvzcaeLpL_yWh5ALRPFLeRz



HP



受取フォルダ

平成29年12月 5日

各研究科長 殿
各研究所長 殿
各全学センター長 殿

副学長・理事
石 井 洋二郎

学内「研究室体験活動」企画募集について（依頼）

標記依頼につきましては、「体験活動プログラムの企画募集について（依頼）」において、企画を募っているもののうち、研究室における体験活動企画にご提案いただけるものに対する補足説明となります。

下記の事項にご留意のうえご提案いただきたく、貴部局内へのご周知方よろしくお願ひ申し上げます。

記

提出締切：平成30年2月28日（水）

提出先：本部学生支援課体験活動推進チーム、内線 22541、22542

e-mail：taikenkatsudou.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

HPアドレス：http://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h19_j.html

受取フォルダ^{*} https://webfs.adm.u-tokyo.ac.jp/public/ySsMAAgI9A6Aap0Bmq9apRvzcaeLpL_yWh5ALRPFLerZ

提出方法：HP内から「体験活動企画提案書」をダウンロードし、ご記入のうえ、上記「受取フォルダ」に企画提案書ファイルをアップロードする形でご提出ください。

企画提案書のファイル名には、「体験活動プログラム企画応募」と記載願います。また、アップロード後は本部学生支援課体験活動推進チームあてにメールにより、アップロード完了をお知らせください。完了メールを確認後、1週間以内に受領メールをお送りします。

お願い事項：

- ・部局単位でとりまとめていただく必要はありません。受入可能な研究室等から直接ご提出ください。
- ・受入対象は、東京大学の学部前期・後期課程に在学する学生とします。
- ・活動期間は、平成30年7月中旬～平成31年3月のうち、1～2週間程度での実施をお願いします。
- ・活動場所は、原則として本郷、駒場、柏、白金各キャンパス内をお願いします。
- ・活動内容は、通常の授業で行われる内容との相違を明らかにすることにより、その実施に支障をきたさないよう配慮願います。また、授業又は講義を補完する活動でないことに留意願います。
- ・活動実施にあたっては、教育課程内の授業の履修など勉学に支障をきたさないよう配慮願います。
- ・活動に参加する学生については、本部において保険料負担及び加入手続きを行い、「学研災付帯賠償責任保険 A コース」（公益財団法人日本国際教育支援協会による第三者への損害賠償責任に対する保険）に加入することとなります。
- ・柏キャンパスにて実施されるプログラムに参加する学生には、奨励金が支給されます。
- ・研究室体験活動の研究にかかる費用や TA、RA 等補助者にかかる費用の補助はありません。
- ・今後のスケジュールについては、おおよそ次の予定です。

平成30年	2月28日（水）	研究室体験活動：企画募集締切
	3月	活動内容、実施期間などの調整
	4月中旬頃～	参加者募集開始
	6月頃	参加申請締切
	7月中旬～	活動期間開始

体験活動企画提案書

研究室体験に関する提案の場合、※の付いている項目欄の記入は不要です。

整理番号 _____

記入日:(西暦) 年 月 日

活動名称 (40字以内)					
応募者氏名			所属・ 学年又は職名		
団体名・ 代表又は担当者名 (団体での応募の場合)					
連絡先	電話		FAX		e-mail
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動			選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動				<input type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動				<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業などに関わる地域体験活動			募集人数	人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動				
	<input type="checkbox"/> 研究室体験活動				
参加資格等					
活動期間	～ 日/週/ヶ月間		主な活動場所		
目的					
具体的な内容 (800字程度)					
大学のサポート					

参加するための費用※	内 訳(1名当たり)		その他特記事項は以下に記載	
	交通費	円		
	宿泊費	円		
	()	円		
	()	円		
計	0 円			
備 考				
活動情報等のウェブサイト				
関係資料のダウンロードサイト等				
応募団体を紹介するウェブサイト等 (団体での応募の場合)	(パンフレット等があればPDFで添付)			
この企画に対する応募者(応募団体)自身の参加の有無をチェックしてください。※				
<input type="checkbox"/> 参加を希望する。 <input type="checkbox"/> 参加は希望しない。				

注： 応募後、1週間以内に受領のメールが届かない場合はお電話にてお問い合わせください。
 東京大学本部学生支援課体験活動推進チーム 電話 03 (5841) 2541、2542